

一般会計歳出の内訳

一般会計の内訳

| 歳入（収入） | | | 歳出（支出） | | |
|----------|---------------|--------|--------|---------------|--------|
| 区分 | 金額 | 構成比(%) | 区分 | 金額 | 構成比(%) |
| 町税 | 20億2,739万9千円 | 16.0 | 議会費 | 7,377万円 | 0.6 |
| 地方譲与税 | 1億6,132万6千円 | 1.3 | 総務費 | 18億1,387万5千円 | 14.4 |
| 交付金 | 4億2,640万8千円 | 3.3 | 民生費 | 19億7,525万2千円 | 15.6 |
| 地方交付税 | 40億2,750万円 | 31.9 | 衛生費 | 14億8,864万6千円 | 11.8 |
| 分担金及び負担金 | 4,651万2千円 | 0.4 | 労働費 | 149万円 | 0.0 |
| 使用料及び手数料 | 2億862万9千円 | 1.7 | 農林水産業費 | 5億661万9千円 | 4.0 |
| 国庫支出金 | 7億6,048万1千円 | 6.0 | 商工費 | 2億7,883万5千円 | 2.2 |
| 道支出金 | 4億9,943万1千円 | 4.0 | 土木費 | 9億2,520万7千円 | 7.3 |
| 財産収入 | 4,220万8千円 | 0.3 | 消防費 | 5億1,065万1千円 | 4.1 |
| 寄附金 | 10億1,977万6千円 | 8.1 | 教育費 | 24億5,672万7千円 | 19.4 |
| 繰入金 | 8億79万8千円 | 6.3 | 公債費 | 13億5,692万円 | 10.7 |
| 繰越金 | 1億円 | 0.8 | 職員給与費 | 12億5,406万3千円 | 9.9 |
| 諸収入 | 1億5,338万7千円 | 1.2 | 予備費 | 100万円 | 0.0 |
| 町債 | 23億6,920万円 | 18.7 | | | |
| 合計 | 126億4,305万5千円 | 100.0 | 合計 | 126億4,305万5千円 | 100.0 |

一般会計歳出（支出）の内訳 ※性質別

| 項目 | 内容 | R8 | 構成比(%) |
|---------|-----------------------------|---------------|--------|
| 人件費 | 職員の給料や手当、議員報酬などにかかる経費です。 | 20億7,798万3千円 | 16.4 |
| 物件費 | 光熱水費や消耗品費、委託料などの経費です。 | 22億9,870万5千円 | 18.2 |
| 維持補修費 | 公共施設の維持管理にかかる経費です。 | 2億928万1千円 | 1.7 |
| 扶助費 | 児童手当、障害者支援費など福祉や医療にかかる経費です。 | 8億1,063万5千円 | 6.4 |
| 補助費等 | 一部事務組合や各団体への補助金などです。 | 22億1,642万3千円 | 17.5 |
| 投資的経費 | 公共施設の改修やまちの基盤整備にかかる経費です。 | 25億7,496万2千円 | 20.4 |
| 公債費 | まちが借り入れた借金の返済金です。 | 13億5,692万円 | 10.7 |
| 積立金 | まちの預貯金へ積み立てるお金です。 | 6億541万9千円 | 4.8 |
| 投資及び出資金 | 財産の運用や公益のために、投資や出資するお金です。 | --- 円 | 0.0 |
| 貸付金 | 奨学金など、一時的に貸し付けるお金です。 | 1,885万円 | 0.2 |
| 繰出金 | 特別会計の収入を補うためのお金です。 | 4億7,287万7千円 | 3.7 |
| 予備費 | 緊急時のために備えているお金です。 | 100万円 | 0.0 |
| 合計 | | 126億4,305万5千円 | 100.0 |

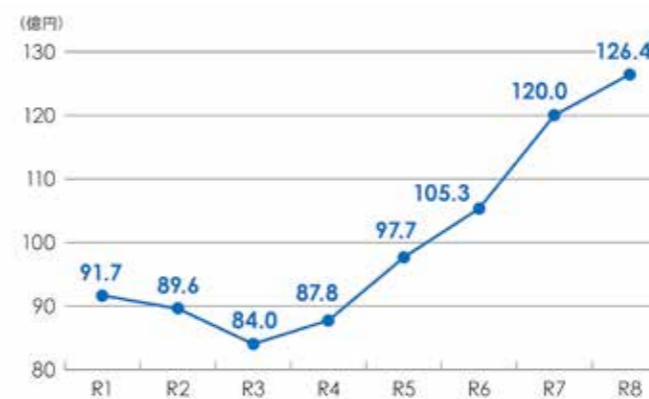
斜里町では「人口減少」「人材の確保」「子育て環境」「脱炭素社会の実現」「行政のデジタル化」「公共施設の老朽化」「物価高騰」など多くの課題に直面しています。

社会背景が大きく変化する中で、私たちを取り巻く環境は厳しさを増す状況にあります。第7次斜里町総合計画の基本テーマのとおり、「持続可能なまちづくり」に町民の皆さんと共に取り組んでまいります。

結びになりますが、斜里町を築き上げてこられた先輩の皆さまに心より敬意を表し、町政4年目を迎えるにあたり、3年前に町民の皆さまへお示ししたまちづくりの実現に向け誠心誠意取り組みます。今後とも町民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

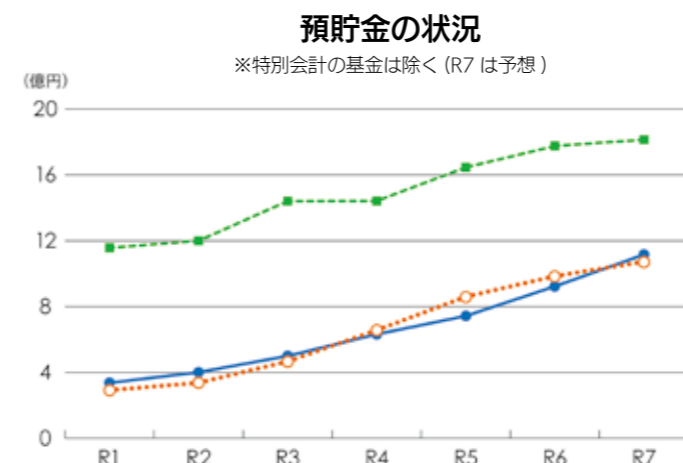
斜里町長 **山内 浩彰**

令和8年度予算規模



近年は、ふるさと納税の堅調な増加や、大型事業（令和8年度は、子育て支援施設整備、スキー場リフトの更新、除雪ロータリ購入、新学校給食センター建設、教職員住宅建設、斜里小学校アトリウム屋根改修、ゆめホール知床長寿命化等）や人件費、物件費（電気代、燃料費等）の増加により、一般会計総額については増加傾向にあります。

預貯金・借入金の状況



- 【財政調整基金（調整資金）】 予算編成等において財源が不足する場合には取り崩すことで財源を調整するための貯金。(令和7年度残高見込：18億1,400万円)
- 【財政調整基金（減債資金）】 借入金（地方債）の返済にあてるための貯金。(同上：10億7,300万円)
- 【特定目的基金】 特定の事業の財源とするための貯金（特別会計を除く12基金）。(同上：11億1,600万円)

↑令和8年度残高見込：141億2,294万円
 近年大型事業等が増加していることから、斜里町の借入金も増加傾向にありますが、適正管理に努めます。

↑各種基金については、ふるさと納税等堅調に推移しており増加傾向にありますが、今後10年程度は、ごみ処理施設の広域化等の大型事業が続くことから、特に調整資金は10億円を下回ることはないように、財政運営をすすめます。

基本目標4

自分らしく健やかに暮らしてつづけられるまち

New

こども家庭センター運営事業 **3,226万円**



子育て家庭に関する相談支援や虐待予防対応を一体的に組織として実施し、町民へセンター機能の周知や教育の機会の充実を図るなど、町民が安心して子育てできるよう、こども家庭センターを開業します。

New

子育て支援施設整備事業 **1億844万円**



はまなす保育園と双葉保育園の保育施設と、中核的な療育施設である斜里地域子ども通園センターを一体的に再整備し、地域の子育て支援拠点として安定的なサービスの提供を図るため、令和8年度は設計業務を行います。

基本目標5

生涯を通じて自分らしく学びつづけられるまち

新学校給食センター整備事業 **8億2,991万円**



平成元年度に建設され、老朽化等の課題や徹底的な衛生管理への対応が急務であることから、民間活力の活用により新施設を整備し、さらなる安心安全でおいしい給食の安定的な提供を図ります（令和8年度から建設工事に着手します）。

ゆめホール知床長寿命化改良事業 **3億3,000万円**

指定避難所でもある、ゆめホール知床を利用者が安心・安全に利用できるよう長寿命化改修します（屋根や壁、ロビー・ホワイエ等の屋内）。

New

教職員住宅建設事業 **2億8,641万円**

教職員が快適に生活できる環境を確保するため、教職員住宅を新設します（建設地：本町54番地7（旧埋蔵文化財センター跡地））。

基本目標6

協働と交流で繋がりつづけられるまち

移住促進・関係人口創出事業 **3,189万円**



・移住に至るまでの住まいや仕事、生活面等の施策などの広報、首都圏等への移住イベントへの出展やおためし暮らしに必要な環境を整備し、ターゲット層の移住促進を図ります。**(1,042万円)**
・地域ブランディングを推進し、そのイメージを広く発信することにより知床・斜里町の価値に共感する人々や企業を増加させ、地域課題に関わる関係人口創出を図ります。**(2,147万円)**

個人版ふるさと納税推進事業 **10億円**

ふるさと納税制度を活用し、地域の特産品のPRや消費拡大の他、観光誘客の促進による地域活性化を推進します。

その他、まちの事業についてHPに掲載していますのでぜひご覧ください



令和8年度の 主な事業

今年度の主な事業について、「第7次斜里町総合計画」の6つの基本目標に沿ってご紹介します。全ての事業を掲載できませんので、ぜひ末尾の二次元コードを読み取り、まちの事業についてご覧いただけると幸いです。

基本目標1

自然と共に生きつづけられるまち

市街地ヒグマ対策強化事業
ヒグマDNA分析事業
鳥獣対策従事者支援事業 **552万円**



- ・老朽化している電気柵の更新、および設置箇所を増加させることにより地域の安全を守ります。**(439万円)**
- ・知床半島ヒグマ管理計画を基に、問題個体を特定のうえ、DNA分析に必要なサンプリングの採取を国・道・羅臼町・標津町と連携して進めます。**(80万円)**
- ・新規ライフル銃取得の補助を行い、ヒグマ対策従事者を支援します。**(33万円)**

廃棄物処理事業 **5億8,637万円**

- ・**廃棄物収集事業 1億1,385万円**
家庭から出された一般ごみや生ごみ等の収集を行います。
- ・**廃棄物処理事業 4億3,610万円**
一般ごみと粗大ごみからバイオ燃料を作り、バイオ燃料にならないものは埋め立てます。事業費のうち、2,708万円は広域処理施設整備に係るもので、7,000万円は第2期最終処分場整備に係る設計業務です。
- ・**以久科処理施設管理事業 1,876万円**
旧以久科処分場の水処理を行います。
- ・**堆肥化処理事業 1,766万円**
家庭や事業所から出された生ごみから堆肥をつくります。

基本目標2

産業が安定しつづけるまち

New

ふぐ処理者認定試験費用助成事業 **136万円**



漁獲量が増加しているふぐに関する情報提供の場を設け、認定試験および講習に要する費用を助成すること等で、資格保有者を増やし、地元流通量の拡大と価格の安定化を図ります。

New

道の駅しゃり屋外環境整備事業 **500万円**



道の駅しゃりの利用環境を整備し、既存の魅力と合わせて中心市街地に新たな交流やコミュニティを育む場を創出します。

基本目標3

安心して住みつづけられるまち

New

除雪機械更新事業 **1億200万円**



除排雪体制を安定的に維持するため、老朽化したロータリ除雪車を更新します。

New

耐震性貯水槽整備事業 **2,000万円**



震災等で水道管の破裂により、消火栓が使用不可となった場合に備え、ウトロ分署敷地内に整備します。